



平成 30 年 8 月 3 日

九州地方整備局

「みなとオアシス対馬 比田勝」が新たに登録されます

～南北のみなとを核として、国境の島「対馬」でのにぎわい創出～

平成 30 年 8 月 4 日に「みなとオアシス対馬 比田勝」（長崎県対馬市）が 120 箇所目のみなとオアシスに登録されます。発展を続ける「比田勝港」において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

国土交通省港湾局では、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として登録してきており、平成 15 年からこれまでに全国で 118 の施設が登録され、地域の活性化に寄与しています。

この度「みなとオアシス対馬 比田勝」（長崎県対馬市）を国土交通省港湾局長が登録し、120 箇所目となるみなとオアシスとして活動を開始することとなりました。なお、同日に登録される「みなとオアシス対馬 厳原」を含めて、みなとオアシスの登録は、長崎県で 4 箇所となります。

「みなとオアシス対馬 比田勝」の代表施設であり、平成 30 年 7 月より博多-比田勝間の混乗便が始まった「比田勝港国際ターミナル」は、売店や軽食喫茶を備えるほか、観光案内窓口を設置しており、対馬観光の中心となっています。

また、構成施設として同じく海の玄関口である「比田勝港国内ターミナル」、また「駐車場」では上対馬のメインイベントであるおっどん祭りの会場となっており、それらの施設がみなとオアシスとして一体的な活動を行うことにより、より効果的な地域振興に寄与することが期待されます。

※ みなとオアシス： 旅客船ターミナル、文化交流施設、みなとの資料館、情報提供施設、地元産品の物販施設や飲食施設などで構成されています。「みなとオアシス対馬 比田勝」の詳細については、別紙－1、別紙－2、別紙－3、別紙－4 をご参照願います。



みなとオアシス標章（シンボルマーク）

＜問い合わせ先＞

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室

室長 河野 正文（かわの まさふみ）

課長補佐 西坂 博文（にしざか ひろふみ）

Tel: 092-418-3340（代表）

Tel: 092-418-3379（直通）

Fax: 092-418-3037

「みなとオアシス」の概要

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



標章
(シンボルマーク)



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

「みなとオアシス対馬 比田勝」の概要



【代表施設】

比田勝港国際ターミナル



【主なイベント】

国境マラソンIN対馬（7月）



おっどん祭り（8月）



イルミネーション(12月)



「国境サイクリングIN対馬」

古来より大陸とのクロスロードとして時を刻んできた国境の島・対馬。

国内はもとより国境を越えてサイクリストは、対馬の豊かな自然や独自の文化を体感でき、対馬での新たな交流を創造することを目的として実施されている。



「国境マラソンIN対馬」

日本の渚百選に選ばれた三宇田海水浴場をメイン会場に、アップダウンを繰り返す過酷なコースを攻略すると、自然と笑顔になれる。真夏の太陽、青い海、青い空がランナーを応援してくれる魅力溢れるロケーションが満載。また、大会名のとおり、例年、韓国からの参加者も多く、国際交流が図れるのも魅力の一つです。



「国境の島」



「韓国展望所からの釜山の夜景」



「比田勝国際ターミナル」

対馬は韓国までは直線距離で49.5kmに位置し、「国境の島」と呼ばれている。

地理的な好条件により、平成28年1月の新国際ターミナルの供用開始以来、気軽に行ける海外旅行先として近年増え続ける韓国からの観光客を地域活性化の柱として捉え、民間事業者と連携しリピーターや宿泊者を増やすための取り組みが行われている。

接岸している国際旅客船



韓国からの旅行者を乗せた高速船が毎日就航している。多い日には入出港あわせて16便が運航している時もある。韓国釜山市と比田勝港の間を1時間余りで結んでいる。

韓国展望所



韓国の建築様式を模して建設した展望所。目の前には航空自衛隊のレーダー基地、水平線には韓国の山並みが見える国境の風景

比田勝国際ターミナル



地理的な要因もあり、韓国からの多くの観光客でにぎわっている。平成30年7月博多港と韓国・釜山港を結ぶ高速船の一部の便が博多ー比田勝間での「混乗」により国内航路として利用できるようになり、国内の観光客も見込まれる。

「みなとオアシス対馬 比田勝」へのアクセス



【交通・アクセス】

(飛行機)

・対馬空港から路線バスで約2時間。

(フェリー)

・博多港から約5時間50分。

(高速船)

・博多港から約2時間10分。

【観光案内の問い合わせ】

【対馬観光物産協会】

電話：0920-52-1566

<https://www.tsushima-net.org/>

【対馬市役所 観光商工課】

電話：0920-53-6111

<http://www.city.tsushima.Nagasaki.jp/>